



1. 2 学期始業式 (総務課より)

9月4日(月) 2学期始業式が行われました。始業式では、校長先生より今夏の甲子園優勝チームの合言葉「エンジョイベースボール」を例に、教育の変化や生徒主体とした自主性の重要性の話と、行事の多い2学期ではあるが、行事の合間の時間を有効に使い勉強に集中する時間を作り、実り多い秋にしてほしいという話がありました。その後は9月から高校2年生へ転入した生徒3名の紹介があり、全校生徒に温かく迎え入れられました。



新生徒会任命式 (生徒会担当より)

6月に実施された生徒会役員選挙で新たに生徒会メンバーとなった5名の生徒の任命式が行われました。生徒会メンバーには特別な臙脂色のネクタイが校長先生より授与されました。そして、旧会長から新会長にバトンが渡されました。新メンバーもそれぞれの思いを胸に学園を代表して頑張してほしいです。



2. 緑舎祭 (渉外課より)

今年の緑舎祭のテーマは緑・GREENです。初代生徒会が、帝京ロンドン学園が緑の中にあることに因んで、本校の文化祭を「緑舎祭」と名付けました。英語探求の授業でも Green Belt について一学期に探求してきました。またテーマに合わせ、国際文化交流委員会 (KBK) のメンバーを中心に緑の葉を切り抜き、森林のイメージで会場を作り上げました。青空の下、恒例の和太鼓の演奏や餅つきもあり、今年は昨年以上の訪問者が訪れ大盛況でした。緑舎祭の収益金の一部は、英国一を誇る森林保護団体 Woodland Trust に寄付をする予定です。



1年生

1年生にとって初めての緑舎祭でした。フードは焼き鳥やお茶を提供し、来客の子どもたちが楽しめるようにけん玉やトントン相撲を考え、生徒たちはそれぞれの役割を全うすることができました。企画から実行までほとんど生徒たちの力で成し遂げました。限られた予算の中で売上を出すためにはどうしたら良いのか、お客さんに楽しんでもらうためには何が必要なのかなど、頭を悩ませながら準備を進めてきた甲斐もあり、当日は大盛況で終わることができました。初めてのことをする時は、失敗はつきものです。しかしそれを振り返り、次回はそこを越えられるようにまた挑戦を繰り返すところに、成長があると考えています。楽しい経験ばかりでなく友人との衝突もありましたが、コミュニケーションを学ぶ最良な機会となったと信じています。今回の振り返りを通して、様々な生活の場面で今回の経験を活かしてほしいと思います。



2年生

高校生活2回目の緑舎祭では「たい焼きとタピオカ」の店出と、手形アートを制作しました。2学期より3名の転入生を迎え、最も多い学年として全員で協力しながら企画を行いました。1学期に必要な材料を話し合い、日本から持ってくるなど事前に計画を立てながら、たい焼きは粒あんとカスタードの2種類、タピオカは抹茶とほうじ茶の2種類を用意し、バリエーション豊富な形で行いました。手形アートでは大きな木の幹を描いて、来場者の様々な色の手形を葉っぱに見立て、大きな木を来場者の協力を得て作り上げました。1学期から長い期間に渡り、反省点も見えましたが、準備をしてきたものが一つのかたちとして見え、大きな達成感を味わうことができました。



3年生

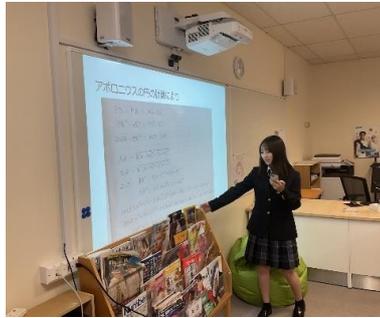
3年生は「おにぎりの湯」と「Photo Booth」の二つの企画を行いました。1学期の英会話の授業で学んだ、アレルギーやベジタリアン、ビーガン、グルテンフリーといったDiet（日常の食事）に関するHealthy Food。そういった経緯から、クラス屋台のメニューは、おにぎりとお味噌汁に決まりました。当日、店先に掲げたメニュー表には使用した食品を表示し、来店したさまざまな方に日本の健康食品を安心して楽しんでいただけたと思います。一方、展示企画のPhoto boothは、日本のプリクラをイメージしたボックス型撮影スペースに、“お花いっぱい”空間を演出し、楽しんで写真を撮ってもらえるようにしました。3年生は少人数の上、大学受験の出願準備も重なり、忙しい中での緑舎祭の準備と当日の運営となりましたが、代議員と国際文化交流委員会を中心に何とか無事に成功裡に終わることができました。



3. 学習発表会（プレゼンテーション）・授業参観（教務部より）



9月21日（木）3・4限に学習発表会と授業参観を行いました。3時間目は、保護者の皆さまに各所を回っていただき、授業やコースでの取り組みの発表において、自らの言葉でポスターやスライドを活用しながら、堂々とプレゼンテーションする姿を参観していただきました。4時間目は、教室での普段の授業の一部を保護者の皆さまに参観していただきました。生徒たちは保護者を前に少し緊張した様子でしたが、普段の授業の様子を見ていただけたのではないのでしょうか。



4. ロンドン日本人学校とのスポーツ交流会（部活動担当より）

9月9日（土）にロンドン日本人学校の中学1～3年生をお迎えして、サッカー・バスケット・テニスのスポーツ交流を行いました。暑いが続いた9月第一週、中でも特に暑い日に熱戦が繰り広げられました。毎年この日を楽しみにしている中学生たちは気合十分で、この日のために練習を重ねてきたようです。本校の生徒も中学生も一生懸命にプレーをしました。両校とも対外試合が豊富にあるわけではないので、今回のように本気で対戦する交流会は、両校ともに貴重な機会となります。同じ英国で暮らす日本人として絆が深まり、お互いのスポーツ活動を豊かにする交流になりました。



5. Eton Discussion Evening (渉外課より)

On September 13th, we were invited to visit Eton as part of their Counterparts event. First of all, we had a special dinner such as chicken and naan while we were enjoying the conversation with Eton students. We were actively involved in communicating with them and talked endlessly about Japanese anime, culture and so on. We also found out a lot of things about them. They were very friendly and kind. We were glad to take part in the special event.

After that, we watched the debate that two students from Teikyo and three students from Eton joined. What's more they talked about deep topics. It was a sensational opportunity for us to watch it because we can't experience like that very often and we also got inspired by two older students who were able to talk their opinion in English fluently, so we really look up them and we want to appreciate to Eton students as well.



6. Teikyo IBDP Letter 3 (IBDP Coordinator より)

Teikyo IBDP Letter 3

1: IBDP Certificate

IBDP ^{ディプロマ}資格を取得するためには、以下の要件を満たす必要があります。

- ① 内部評価（事前提出課題）と、外部評価（世界共通の最終試験）通じて45点満点中、原則24点以上取得
- ② TOK、EE、CAS（それぞれについては前号参照）の所定の条件を満たすこと

外部評価の最終試験は、年2回5月と11月にそれぞれ世界で一斉に行われます。本学園の場合は、3年生の11月にIB機構に定められた日程の中で、厳格な試験環境で実施し、翌年の1月に最終スコアが通知されます。

※内部評価、外部評価等の詳細は次号掲載予定

最終試験の内容が気になる生徒は、IBDPコーディネーター木村が持っているので申し出てください。みなさんが今まで受けてきたテストや、日本の大学入学共通テストとは異なるものです。



2: DLDP (Dual Languages Diploma Programme)

DPの授業や試験は世界共通で原則、公用語である英語・フランス語・スペイン語のいずれかで実施されることになっています。しかし、文部科学省の働きかけにより、DPの一部の科目を日本語で実施可能とするプログラムが開発されました。これを、「日本語DLDP」あるいは「日本語DP」と呼びます。6科目のうち2科目は公用語で授業を行わなければなりません。本学園は、日本語DPを提供しており、開設授業の学習言語は以下のようになっております。

教科名 (Group)	履修する科目	使用言語
言語と文学	日本語 A: 言語と文学	日本語
言語の習得	English B	英語
個人と社会	歴史	日本語
理科	生物	日本語
数学	解析とアプローチ	英語
芸術	美術	日本語

数学の「解析とアプローチ」はPamojaというオンライン授業となります。学習言語は英語になりますが、本学園の日本人数学教員がつきますので、不安に感じなくても大丈夫です。

EnglishBと数学の「解析とアプローチ」は上図の通り英語で行われます。そのほかにも、洋書の教材を使う場面や英語で発言する機会がたくさんあります。そのため、IBディプロマプログラムを選択する生徒は選択時には少なくとも、「英検2級以上」または、それに相当する英語運用能力が求められます。



7. 各コースより

サッカーコース

2学期より新たな United Select と提携し日々活動しています。すでにレベルにわかれて試合に参加しており、それぞれリーグ戦も始まっています。また、試合後は映像を観ながら振り返りを行って、次の機会に活かせるように活動しています。



アートコース

2学期アートコースの活動が始まりました。初日の ISCA の授業では、Year2（高2）は IGCSE の試験に向けて個人課題、Year1（高1）はグラウンドに出て制作をしました。その他のアートの授業では油絵制作やシルクスクリーン制作、アーティストリサーチなどを行っています。自分らしく、こつこつと、思い思いに自分の内面世界を見つめる時間が始まりました。



8. 寮便り



2 学期は、学園施設の工事の影響で、これまで女子寮だった SHOICHI ホールを、1 階を男子が、2 階を女子が使用する形で、学園寮が再開されることとなりました。水回り部分の共用をはじめ、慣れない部分は多々あると思いますが、皆で協力しながら、この長い 2 学期を乗り切っていきたいと思っています。そのようななか、緑舎祭の代休を利用して、昨年来から切望されていた Warner Bros. Studio Tour London, The Making of Harry Potter へ、寮企画として見学してきました。以下は、参加した生徒からの感想です。

- ・最初、3 時間は長すぎると思っていたけれど、あっという間に過ぎてしまいました。それくらい夢中になっていたのだと思います。憧れていたハリポタスタジオに行けて嬉しかったです。卒業までにもう一度行きたいです。
- ・どれも再現度がとても高く、本当にハリポタの世界に迷い込んだようでとても楽しかったです。ハリポタをあまりちゃんと見たことがなかったので、今度もう一度ちゃんと見てみたいと思いました。



9. 保健室より



新学期が始まって1ヵ月余り、疲れが見え始めている生徒たちもありますが、それぞれで週末に休養時間を多めに取るなど、セルフケアに努めている様子も見受けられます。

9月17日(日)、8名の生徒と教職員が、学園近くのBlack Parkで行われた、Walk 4 Wardsというチャリティウォーキングイベントに参加しました。このチャリティウォーキングは、地域の病院が企画したもので、参加者たちがこれまでお世話になったり、サポートしたいと思ったりする病棟を選び、その病棟へ寄付を集めるために5マイル(約8キロ)のウォーキングを行うというイベントでした。学園には6月に、地元の病院から循環器の医師が来校し、チャリティイベントの一環として、生徒たちへ心肺蘇生の講習会を行っていただきました。今回はそのお礼の気持ちを込めて、その循環器科を寄付先に選び、皆で8キロの道のりを歩きました。秋の始まりを感じる森を歩き、「何だか気持ちが落ち着くね」と話しながら、それでも最後は、「ゴールはまだかまだか...」と皆がだんだん無言になっていきましたが、地元の方々やボランティアの方々の声援に励まされ、無事に皆で歩き切ることができました。100人ほどが参加したイベントでしたが、歩き終わった後には、ケーキや飲み物が振る舞われ、皆でその健闘を讃え合うなど、イギリスらしい雰囲気を感じ清々しい日曜の朝となりました。



***** 今月の一枚 *****



緑のお祭りと秋の気配



編集後記

長い夏休みが終わり、学園生のにぎやかな笑い声でキャンパスは再び活気を取り戻しました。1番長い2学期、行事も盛りたくさんです。充実した学期となりますように。

帝京ロンドン学園のInstagramはコチラ! ▶▶▶

